

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

14	個性と性格を活かしたコミュニケーション方法について理解する③。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4
15	個性と性格を活かしたコミュニケーション方法について理解する④。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4
試				

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	10	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	授業毎にリアクションペーパーに加え、テーマごとに課題（ワーク）を課し、その内容および取組みの姿勢を総合的に評価する。課題（ワーク）は授業内だけでなく、授業終了後に提出するものが含まれる。	学内掲示、オフィスアワー、そして、Microsoft Teams を利用して個別にフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし。
教員の実務経験	社会福祉士及び公認心理師の資格を有し、相談現場での実務経験を有する。
実践的授業の内容	教員自身の体験を含め様々な場面でのコミュニケーションの実例を示し、その実践知と論文や書籍に記載されている理論知を比較しながら学習する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 授業中、PC またはタブレット端末を使用するため持参すること。 生成 AI（ChatGPT 等）を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めないこともある。